

令和7年度第2回どっぶり高知旅キャンペーン推進委員会でのいただいたご意見及び対応

項目	ご意見	対応
プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ● どっぶり高知旅キャンペーンと国民文化祭が一緒になって盛り上がりを見せることで、両方を知ることができるような展開を望む。 ● 国民文化祭にあたって、トラベルセンターも設置すると聞いている。ぜひ「どっぶり高知旅」と「文化」が連携した広報にご尽力いただきたい。 ● 国際ターミナルやクルーズ船の取組に連動するかたちで、さらにインバウンドを意識する必要性を感じている。 ● どんどん「食」や「体験プラン」が増え、熱量を感じている。これらを首都圏に、もっと広報してきたい。首都圏でメディアを巻き込んだような派生効果の出る仕掛けを考えて頂きたい。 ● 2027年の大河ドラマの舞台が「幕末」。他県は「幕末」と絡めた取組に着手しているそう。高知県らしい、歴史のストーリーを発信できるような準備を始めていけたら。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民文化祭を契機に「文化」を観光資源として磨き上げるとともに、開催期間に合わせて「よさこい」や「伝統芸能」に焦点を当てた誘客イベントを開催するなど、国民文化祭と連動した観光振興の取り組みを進めていく。 ● よさこい高知文化祭課とも連携し、トラベルセンターや国民文化祭の広報媒体を通じて、国民文化祭の参加者の属性や興味に応じた観光情報を提供していく。 ● どっぶり高知旅CPの核となる商品造成委託事業において、地域通訳案内士がガイドする商品の造成など、インバウンド向け商品の造成に取り組んでいる。さらに、来年度はインバウンド向けのどっぶり商品づくりを強化していく方向で検討中。また、外国人観光客に高知県の魅力をしっかりと伝えるため、既存のどっぶり商品と通訳ガイドのマッチングなどを推進し、旅行商品の付加価値を高め、さらなる誘客につなげていく。 ● R8年度は、首都圏メディア等へのPR委託事業の予算を拡充する予定。また、共同通信社と連携した情報発信事業も活用し、首都圏・関西圏のメディアに対して話題性のある情報を継続的に提供していく。 ● 「らんまん」「あんぱん」をきっかけに構築できたNHK関連団体との関係性を継続し、来年の大河ドラマに合わせて高知の歴史資源を効果的にPRできるよう、準備を進めていく。
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材確保と同じく、代替するものの活用も有効であると考え。観光DXの取組を進めるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材確保と、観光DXなどによる生産性向上は受入体制のためどちらも重要であると考えている。他部局の既存の支援策や、新設される補助金の情報を紹介して、観光DXの取り組みを促進していきたい。
どっぶり商品	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人旅行で「どっぶり商品」のような深掘り商品を丁寧に説明できる窓口が無く、なかなか売れていないのが現状。冒険的な試みに対するプロモーション費用の補助に期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● R8年度コンベンション協会の予算において、一定の要件を満たす旅行商品については、販促に係る費用の一部について助成を実施する予定。
あんぱん	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝ドラのロケ地という切り口について、今後の展望を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーションコンセプト「ドラマが生まれる場所 高知」は、朝ドラのロケ地であることを意識して設定したものであり、今後はプロモーション全般で「朝ドラの舞台」としての強みを活用していく。具体的な取り組みの一つとして、「らんまん」「あんぱん」の放映シーンやロケ地、ゆかりの地などをまとめたPRパンフレットをNHKと連携して制作中であり、R8年度以降に配布する予定。